

抗 Rad22/Rad52 (*S.pombe*) 抗体、ウサギポリクローナル

63-003 50μg

保存：4℃または-20℃で送付、-20℃で保存

免疫原：大腸菌で発現し、高度に精製した全長の分裂酵母 Rad22 タンパク質

形状：1.0 mg/ml in PBS- with 50% Glycerol. フィルター滅菌

精製：精製した Rad22 タンパク質を用いて affinity カラムを作ってウサギ抗 Rad21 血清から精製した。

反応性：分裂酵母 Rad22 タンパク質。他の種では試していない。

用途

- 1) ウェスタンブロッティング (2,000~5,000 倍希釈)
- 2) 免疫沈降実験
- 3) 間接免疫染色法
- 4) ELISA

背景：分裂酵母の Rad22 タンパク質(469 アミノ酸、52 kDa) は出芽酵母やヒトの Rad52 タンパク質の機能的及び構造的ホモログであって、相同的組換え及び組換え修復において Rhp51 (Rad51) と共に中心的な役割を果たし、相同な単鎖 DNA のアニーリングを促進する機能をもっている。

データリンク [SwissProt: P36592](#) Schizosaccharomyces pombe

[Entrez Gene: 2543086](#) Schizosaccharomyces pombe

参考文献

1. Lehmann AR "Molecular biology of DNA repair in the the fission yeast Schizosaccharomyces pombe."

Mutation Res **363**:147-161 Review (1996) PMID:

[8765156](#)

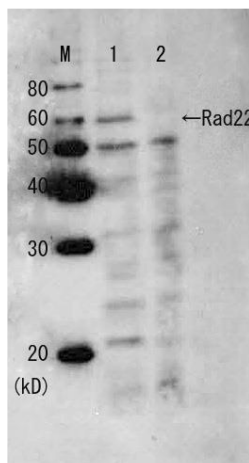


図2. 未精製抗 Rad22 抗血清を用いたウェスタンブロット法による分裂酵母中の Rad22 タンパク質の検出

M : 分子量マーカー(kD)

レーン 1 : 野生型分裂酵母溶解液

レーン 2 : Rad22 欠損株の溶解液

矢印が Rad22 タンパク質の位置

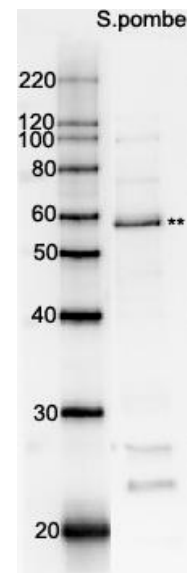


図1. 精製した抗 Rad22 抗体を用いたウェスタンブロット法による分裂酵母中の Rad22 タンパク質の検出

Rad22 抗体は 1/2,000 希釈で用いた。

レーン 1 : 分子量マーカー(kD)

レーン 2 : 野生型分裂酵母溶解液

**印は Rad22 タンパク質の位置